

藍サポ通信 ～明日に向かって～

Vol.9 発行日 2013年7月31日

社会福祉法人藍

大阪市平野区平野南3-11-35

TEL (06) 6799-1065

有限会社 ひらの

大阪市平野区平野西4-7-28

TEL (06) 6703-1711

発行責任者 保田 八十次

編集 藍サポートネットワーク広報委員会

<http://www.oct.zaq.ne.jp/ainetwork/index.html>

藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。

「障がい」の記載について、藍サポ通信～明日に向かって～では「障がい」の記載方法を明確にするため、法律や公的に記載されているものを除いて「障がい」とひらがなで記載しています。法律名称や公的に漢字で記載されているものについては「ひらがなに変換せずに」そのまま記載しています。

あんしんそうぞう 安心創造

振り返った時に「いい人生だったな～」と思えるため今日を生きる

「やりたいことやったらええやん」

平成25年6月をもって、藍サポートネットワークでは、社会福祉法人 藍と有限会社ひらのの共通理念として「安心創造」を掲げます。

昭和55年に発足した障がい者の働く場「ひらの作業所」が藍サポートネットワークの起源です。障がい者を取り巻く環境が整備されていなかった当時の親たちは、障がいを持つ子供の生活や職場、そして親亡き後の不安を抱えていました。そのような親たちは「作業所」や「グループホーム」を自らの手で創り出し、不安を安心に変える活動を続けてきたのです。

その意志を我々は引き継ぎ、すべての瞬間において我々の活動が「安心」につながっているかを意識することで日々の安心を創り出し、そして振り返った時に誰もが「いい人生だったな～」と思えるような支援を実践する集団を目指します。そのために「やりたいことやったらええやん」というスタンスで誰もが主体性を持って行動できるよう努めていきます。

理念を実践するための行動規範

- ・利用者の安心を最優先とする。
- ・安心は家族に対しても与えられなければならない。
- ・安心は職員に対しても与えられなければならない。
- ・法令を順守しなければならない。
- ・危機管理を徹底しなければならない。
- ・安定した事業基盤を構築し維持しなければならない。
- ・一人一人が主体性を持って行動しなければならない。

これからも藍サポートネットワークをよろしく願いいたします。

(有限会社ひらの 保田眞規生)

活動報告 ひらの

～ビンゴよりくじ引き?～

生活介護ひらのでは祝日の午後の時間を使って全員でビンゴ大会を開催するのが恒例となり、祝日の日は朝から景品を買いに近くのスーパーへ買い物にでかけています。初めはおかしが中心でしたが最近ではじゃがいも、わさび、ラーメンなど中にはあまりもらっても嬉しくないものまで景品に含まれるようになってきました。スタッフの隙をみて自分が食べたい物をそとカゴに入れる方もいて、景品選びも楽しみながら参加しています。

午後の作業をいつもより少し早く終わらせて全員が揃ったところでビンゴ大会の始まりです。数字を読み上げられる度に自分も持っているカードの数字を確認し、次々にビンゴが成立していきます。ただ、ひらののビンゴ大会はここから更なる試練が待ち受けています。それは一番にビンゴになった人は景品が書かれたくじを誰よりも先にひける権利を得るだけで一位の景品がもらえるわけではありません。つまり、一番でビンゴになって最初にくじを引いても残念賞の景品があたる可能性があるということです。ということは最下位でビンゴになっても運が良ければ一位の景品があたる可能性もあるということになります。

くじを引く時はドキドキとした表情がみられ、自分がねらっていた景品と違うものがあたってるときは悔しがる様子がみられるなどある意味ビンゴより盛り上がるくじ引きです。次の祝日にはどんなビンゴ大会になるのか楽しみです。

記事担当 山川

活動報告 藍(共同生活介護)

ケアホームでは、余暇の充実を図るとともに利用者さん同士の交流の場そして利用者の皆さんの楽しみの一環として3つのケアホーム合同で平日の外出企画を6月から新しく始めました。

今回は、【200℃ハンバーグ(平野店)】に集合し各ホームの利用者さんとスタッフで食事会を開催しました。皆さん集まって早々にワイワイガヤガヤといつもと違った賑やかな雰囲気です。各ホームの利用者さんの中には、別の通所施設を利用し、交流の少ない利用者さんもいたりして普段とは違う新鮮な雰囲気です。

そして終わりに「おいしかったわ!」「また来たい!」「楽しかった!」などの利用者の皆さんからのありがたいお言葉もいただきスタッフ一同嬉しく思っています。これからも利用者の皆さんに楽しかったと思ってもらえるような企画を考え取り組んでいきたいと思ひます。

記事担当 高添



活動報告 社会福祉法人藍くれよん・第二くれよん 地域生活支援センターHIRANO くれよん

七夕週間



七月の代表的な行事と言えば、七夕ですね。くれよんでも季節感を大事にしたいという事もあり、みんなで七夕にちなんだ創作活動をしました。まず、立派な笹を買い、折り紙や画用紙で飾りや短冊を作りそれぞれの思いや願い事、言葉を短冊に書き願いを込め、笹に飾り付けました。

みんなの願い事が書かれた色とりどりの短冊が飾られた笹はとても綺麗で、素敵な七夕週間になりました。



川の仲間たち



第二くれよんに新しい仲間が加わりました。みんな新しい仲間に興味津々！観察したり、触ったりなどして生き物との触れ合いを肌で感じています。生き物が怖くなかなか手では触れない児童もいますが、中にはエサを糸につけ自分たちで釣りを楽しんでいる児童もいます。生き物との触れ合いから命を大事にすることを学べていけたらと思っています。

記事担当 的場



ヘルパー日誌

梅雨もあけ本格的に暑くなる真夏の時期は、海や山、プールに行く機会が多くなりますね。私は車椅子の利用者さんと一緒にお出かけする事が多いのですが、やはり車椅子になると移動の制限が多くなります。

しかし、最近はバリアフリーが大きく発展し、駅や大型のショッピングセンターでは多目的トイレが増え、スロープの設置が多くなった事で様々な所に行けるようになりました。またプール内でもプールに入水する為のスロープやベッドのついた更衣室などが増えてきました。4月18日に行われたバリアフリー展では年々と参加する企業が増え今後のバリアフリーの発展に大きく期待できます。今後も利用者さんが移動しやすい形になり、様々な場所に行ける事を楽しみにしています。

記事担当 新立

社会福祉士実習指導ー実習生の受け入れについてー

藍サポートネットワークは、社会福祉士養成課程における相談援助実習の単位を取得しようとしている学生（実習生）の受け入れを開始しました。藍サポートネットワークには社会福祉士実習指導の資格を有する社会福祉士を1名配置し、実習指導者として実習生の受け入れを担当しています。

福祉実践の後継者を育成し地域に輩出することは、利用者の最善の利益の向上に寄与するものです。社会福祉の実践現場において実習生を受け入れ、指導することは、実習生に福祉的センスを身につけさせ、将来の福祉実践の後継者を育成することとなり、地域福祉の向上に向けた社会貢献としての意義があります。また、実習生を受け入れることは、法人自身が自分たちの実践を振り返る機会にもなり、見失われがちな法人内での福祉実践を整理するという点においても意義があります。

実習生の受け入れについては個人情報の管理を厳密に行い、利用者さんに安心して実習生と過ごしていただく体制を整えています。実習生の受け入れについては、実習生の受け入れごとに「実習生の受け入れのお知らせ」をお配りいたしますので内容をご確認ください。また、個人情報の取り扱いについてもそのお知らせにて説明し、個人情報の使用について「同意する」か「同意しない」かをお聞きすることにしておりますので、お手数をおかけしますがご回答いただけますようお願い申し上げます。

今後の実習生の受け入れについて、みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

(有限会社ひらの 保田真規生)



リスクマネジメント委員より

これから増える熱中症にご注意ください。



熱中症の発生は7～8月がピークになります。真夏日や熱帯夜が続くと熱中症が起りやすくなります。熱中症の発生が高まる条件としては、気温が高い、湿度が高いなどの環境条件と、体調が良くない、暑さに体が慣れていないなどの個人の体調による影響とが重なることにより発生しやすくなります。炎天下の野外だけではなく、風の通らない暑い室内でも体温調節がうまく働かないので注意が必要です。

熱中症は適切な予防をすれば防ぐことができます。のどの渇きを感じなくてもこまめな水分補給をしてください。暑さや水分不足に対する感覚機能が低下している場合、暑さに対する身体の調整機能も低下しています。まわりも協力して水分補給の声掛けを行ってください。室内では扇風機やエアコンを使い温度調節を行ってください。風をとおす、室温を下げることで熱中症の発生は抑えられます。外出時は日傘や帽子を着用する。日陰を利用し、こまめに休憩を入れる。体調が悪い時は屋下がりの外出はできるだけ控えるなどで熱中症になりにくくなります。

これから暑い夏の季節がやって来ます。子供たちには夏休みということでお昼頃の外出の機会が増えるかもしれません。この季節は野外のイベントも多いので大人も外出の機会が増えるでしょう。楽しく夏を過ごしていくために熱中症の予防を適切に行い、いい思い出をたくさん作ってください。

リスクマネジメント委員 渡邊

社外交流

6月8日(土)、四国は愛媛県松山市にある介護老人保健施設 高井の里から支援相談員さんと作業療法士さんが施設見学に来られました。お一人は、私が社会福祉士の受験資格を取るために通信教育を受講していた頃の



同期生です。今回はお二人とも大阪の千里中央で開催された研修参加のため来阪されたのですが、わざわざ自費で延泊してまで平野西事業所に見学に来てくださいました。



見学では利用者さんと交流していただいたうえ、ひまわりのプレゼントまで頂戴し、とてもよくしていただきました。「うちの事業所で元気をもらいたい」と言っていたのですが、逆にこちらが彼女たちから元気をいただくことができました。このような繋がりをもっと増やしていきたいと思います。

(有限会社ひらの 保田眞規生)

藍サポートネットワークでは随時職員・ボランティアを募集しています。

経験の有無を問わず介護サービスに従事されることを希望される方は下記連絡先までご連絡下さい

社会福祉法人藍 大阪市平野区平野南3-11-35

TEL (06) 6799-1065

有限会社 ひらの 大阪市平野区平野西4-7-28

TEL (06) 6703-1711

メールアドレス: ainetnetwork@oct.zaq.ne.jp

フリースペース

季刊誌「藍サポ通信」に記事を投稿してみませんか?身近な事から皆さんのお役に立つ情報など幅広い記事を掲載したいと考えています。ご投稿頂いた記事は、フリースペースで紹介させていただきます。詳しくはお近くの職員又は下記のメールアドレスまでご連絡下さい。

メールアドレス: ainetnetwork@oct.zaq.ne.jp

ホームページでは藍サポートネットワークの様々な情報提供をしています。

ホームページ: <http://www.oct.zaq.ne.jp/ainetwork/index.html> または Google「藍サポートネットワーク」で検索